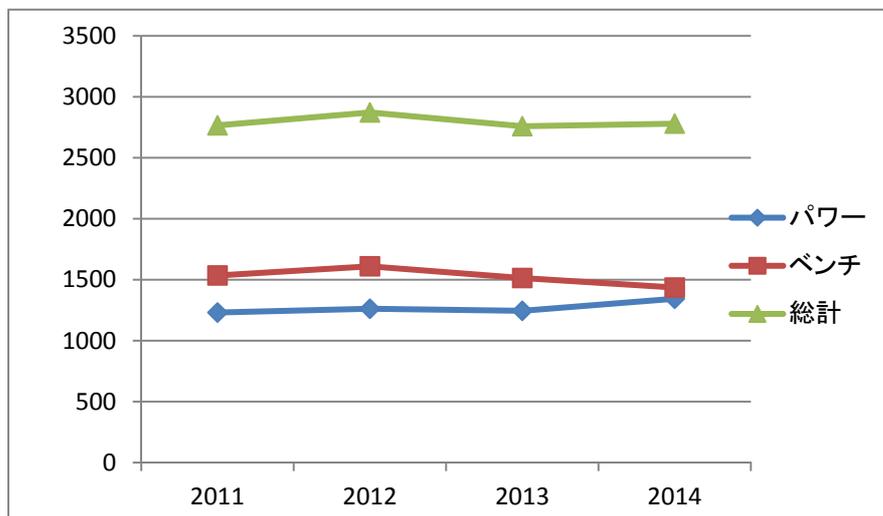


2014年ランキングを読む

1、クラス変更のあった2011年～2014年末までのJPAのパワーとベンチ大会に参加した選手数をまとめてみました。

ただし、こちらは、ワールドニュースが2014年1/1から12/31までにJPA公認の大会で、パワーハウスがまとめた資料ですので、実際のJPA発表の資料とは異なることとなります。
一人の選手が複数回出ておられますが、その選手の一番良い記録をランキングとしてまとめたので、ワールドニュースが把握した実際の選手数を示します。

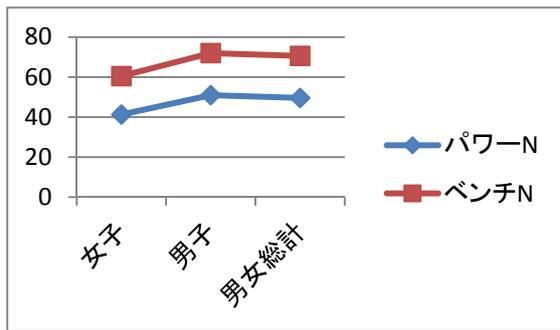
	クラス	2011年		2012年		2013年		2014年	
		パワー参加者	ベンチ参加者	パワー参加者	ベンチ参加者	パワー参加者	ベンチ参加者	パワー参加者	ベンチ参加者
女子	47	27	36	25	35	26	28	31	25
	52	33	53	43	54	37	53	40	50
	57	50	52	43	50	37	41	44	36
	63	31	26	27	33	31	34	32	32
	72	20	16	17	10	15	11	16	16
	84	3	8	7	8	6	6	6	4
	84+	4	2	2	1	1	1	1	2
	小計	168	193	164	191	153	174	170	165
男子	59	209	176	189	202	196	178	201	169
	66	201	266	227	293	231	298	264	261
	74	228	316	228	342	230	313	241	313
	83	177	252	214	251	201	248	222	235
	93	129	171	124	168	121	151	133	157
	105	81	97	76	93	75	90	76	78
	120	29	46	33	49	26	44	26	40
	120+	9	18	7	21	12	18	11	18
	小計	1063	1342	1098	1419	1092	1340	1174	1271
男女総計	1231	1535	1262	1610	1245	1514	1344	1436	
P&B総計	2766		2872		2759		2780		



グラフを見ると、ベンチ参加者が少し減少、パワー参加者が増加していることが分かる。全体としては、2014年度はやや選手数が増加している。

2、最近、世界クラシックパワー、アジアクラシックベンチ、アジアクラシックパワーができたこともあり、より上の大会を目指して、クラシックパワー&ベンチに出る選手が増えているように思われるので、ギア、ノーギア人数をランキングから割り出してみました。(こちらワールドニュースが集めた資料ですので、JPAの正式発表とは異なります。)
この数字は一人の選手が重複して出ている場合も全て換算したので、延人数を示します。

	クラス	パワー総計	パワーギア	パワーノーギア	ベンチ総計	ベンチギア	ベンチノーギア	パワーのノーギア割合	ベンチのノーギア割合
女子	47	68	47	21	40	15	25	30.9	62.5
	52	75	47	28	78	32	46	37.3	59.0
	57	84	42	42	55	22	33	50.0	60.0
	63	65	35	30	40	15	25	46.2	62.5
	72	36	22	14	31	14	17	38.9	54.8
	84	10	5	5	7	1	6	50.0	85.7
	84+	1	1	0	5	2	3	0.0	60.0
	小計	339	199	140	256	101	155	41.3	60.5
	クラス	パワー総計	パワーギア	パワーノーギア	ベンチ総計	ベンチギア	ベンチノーギア	パワーのノーギア割合	ベンチのノーギア割合
男子	59	377	252	125	282	90	192	33.2	68.1
	66	446	227	219	410	102	308	49.1	75.1
	74	363	164	199	450	115	335	54.8	74.4
	83	333	136	197	322	78	244	59.2	75.8
	93	201	83	118	227	58	169	58.7	74.4
	105	116	39	77	119	43	76	66.4	63.9
	120	50	28	22	79	38	41	44.0	51.9
	120+	19	4	15	24	12	12	78.9	50.0
	小計	1905	933	972	1913	536	1377	51.0	72.0
男女総計	2244	1132	1112	2169	637	1532	49.6	70.6	



パワーリフティング三種目より、シングルベンチプレスの方がノーギア率が高く、また、女性より男性の方がノーギア率が高いことがわかる。

3、年々ノーギア率がどう変化しているのか、を見るために、年度別のノーギア率の変化を追ってみます。

	男女合計パワー	男女合計ベンチ
2013年	52.7	68.6
2014年	49.6	70.6

おおよそ、パワーのノーギア率は50%、シングルベンチのノーギア率は70%であることが分かる。

年度の変化については、パワーの方は、ノーギア率が少し下がっているが、ベンチは、逆にノーギア率が高まる傾向があるようだ。

